

令和2年度  
夏季特別展

# 玩具伝説

—おもちゃの60年史—

昭和・平成を彩ったおもちゃが愛荘町に集結!



### ▶学芸員による展示解説

日時:令和2年8月2日(日)・16日(日)  
10:30~11:00/13:30~14:00  
場所:歴史文化博物館 企画展示室  
参加費:無料(要入館券)

### ▶展覧会図録

●頒布価格 1,000円



### ▶ワークショップ「昔のおもちゃ・ゲームで遊ぶ」

●展覧会にも登場したおもちゃを体験できます!  
日時:8月23日(日) 10:00~16:00  
場所:歴史文化博物館 研修室  
参加費:無料(要入館券)



令和2年度夏季特別展

# 玩具伝説

—おもちゃの60年史—



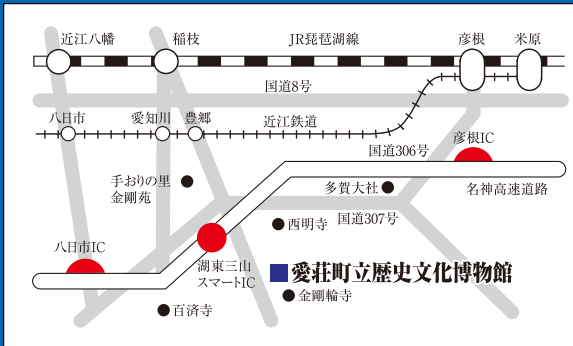
(上)ジープ(小菅松蔵製)/昭和20年(1945)頃  
(下)ファミリーコンピュータ/昭和58年(1983)

## 愛荘町立歴史文化博物館

(金剛輪寺参道隣)

〒529-1202 滋賀県愛知郡愛荘町松尾寺878番地  
TEL.0749(37)4500 FAX.0749(37)4520  
<https://www.town.aisho.shiga.jp/hakubutsukan/>

**アクセス** 【電 車】JR稲枝駅、近江鉄道愛知川駅・豊郷駅から予約乗合タクシー「愛のりタクシーあいしょう」  
金剛輪寺停留所下車(詳細は愛荘町ホームページを参照)  
※「愛のりタクシーあいしょう」の予約先:近江タクシー(株)彦根営業所 ☎0749-22-1111  
【自動車】名神「湖東三山スマートIC」より1分



令和2年

7月23日(木)→8月30日(日)

10:00~17:00(入館は16:30まで)

休 館 日/月・火曜日(祝日は開館)  
入 館 料/一般300円(250円) 小・中学生150円(100円)  
※( )内は20名以上の団体料金

無料入館日/8月8日(土)~10日(月・祝)  
後 援/ NHK 大津放送局 びわ湖放送 朝日新聞大津総局  
京都新聞 産経新聞社 滋賀報知新聞社 中日新聞社  
毎日新聞大津支局 読売新聞大津支局

愛荘町立歴史文化博物館



# 200点以上のおもちゃを展示!

子供の頃に遊ばなかった人はほほいないと思います。しかし、「遊び」は身近すぎるゆえにこれまであまり顧みられることはありませんでした。

「遊びはすべての文化の本質である」ともいわれるほど、おもちゃにはその時代の文化や技術が詰め込まれています。中には当時の社会を色濃く反映している物や逆に社会に影響を与えたものもあり、現代の文化を知る資料として近年注目されています。

本展覧会では戦後初のおもちゃ「小菅のジープ」や、野球盤やカロムといった長く愛されている玩具から、世界初の家庭用ゲーム機である「オデッセイ」や、大人気となった「ファミリーコンピュータ」などのビデオゲーム機を展示し、戦後から平成中期までのおもちゃの歴史を解説いたします。

また、愛荘町内の方々から思い出の玩具を募り、時代ごとの遊びの記憶も紹介いたします。



パズルカー (小菅松蔵製)  
昭和20年 (1945) 頃



シルバニアファミリー  
昭和60年 (1985) ~



人生ゲーム (初代)  
昭和43年 (1968)



ベイブレード  
平成11年 (1999)

展覧会では主に手遊びおもちゃとビデオゲームの2章に分け展示いたします。

## 1章 手遊びおもちゃ

大津で製造され、戦後の日本を支えたブリキ玩具や、滋賀県を中心に地域で愛されているカロムなど、滋賀県とおもちゃのつながりを解説。また、高度経済成長から平成中期の間に発売され人気となったおもちゃたちを展示し、女の子向けのおもちゃや、伝統玩具と平成のおもちゃとの関係など、多様化していく遊びを解説いたします。

## 2章 ビデオゲーム

現在とは遊び方が異なる世界初の家庭用ビデオゲーム機や、いわゆるアタリショックと呼ばれる、後の時代のゲームライセンス制度に影響を与えた事件など、ビデオゲームの黎明を解説。また、ファミリーコンピュータだけではなく、昭和から平成にかけて発売されたビデオゲーム機を展示し、当時の様々な技術や発想が盛り込まれたビデオゲームを紹介いたします。

他にも、当時の遊びがよくわかる品々を、持ち主の思い出と共に展示し、昭和から平成中期の遊びの歴史を振り返ります。



オデッセイ  
昭和47年 (1972)



ビデオコンピュータシステム (Atari2600)  
昭和52年 (1977)



セガ・メガドライブと拡張機器  
昭和63年 (1988) ~平成6年 (1994)  
©SEGA



ニンテンドーゲームキューブ  
平成13年 (2001)